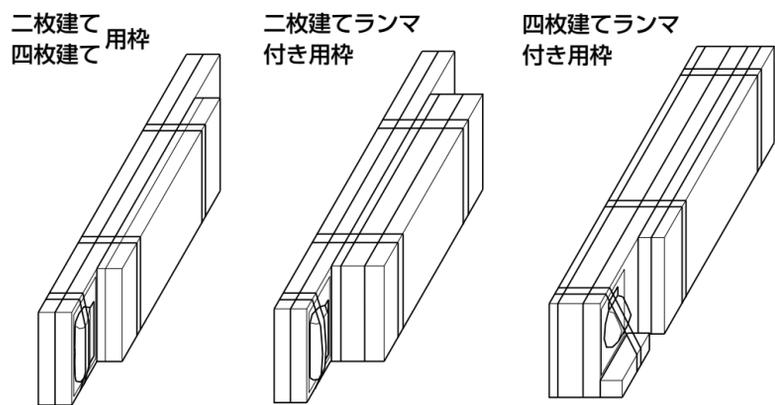


●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付け上のお願

- 本製品は、アングルなし半外付サッシ（関東間）の大壁仕様に対応しています。（アングル付サッシ・外付および内付サッシには、対応しません。）
- 壁厚・畳寄せ幅・サッシなどの納まりにより、枠をカットする場合があります。詳細は、下記に記載してありますので、ご覧ください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎるとねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・取付けには、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付けるときは、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」又は、ノンホルムタイプを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。かい木は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。

■部品・部材の明細 ※枠はノックダウン、本体は完成品。



■部品セット同梱

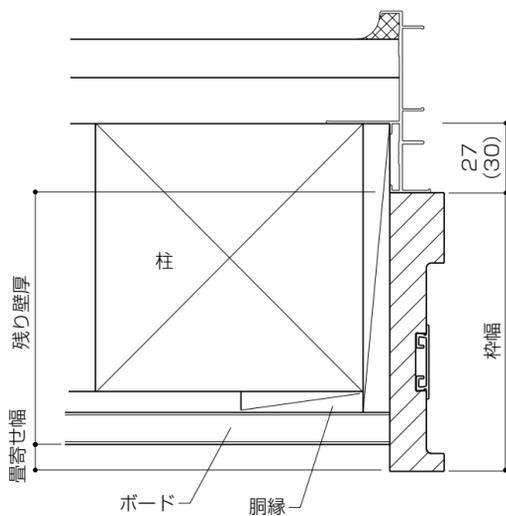
	枠					ねじ部品セット
	鴨居	敷居	縦枠	中鴨居	吊束	
二枚建て・四枚建て	1	1	2	-	-	1
二枚建てランマ付き	1	1	2	1	(1)※	1
四枚建てランマ付き	1	1	2	1	1	1

※呼称2枚建てランマ付き25622のみ吊束が付きます。

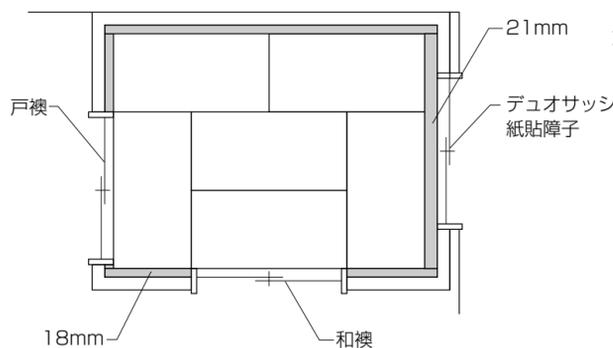
■ねじセット

対応機種呼称	組立て取付けねじ DN65φ3.8×65 (入数)
16009、16011、16013、16509、16511、16513、25611	20本
16018、16020、16518、16520、25613	23本
25618、25620、34720	26本
16522	30本
25622	36本

■壁厚に対応する枠幅の使い分け



注1) 本製品は半外付けサッシの大壁仕様に対応しています。畳寄せは定尺材（別売）の12、18、21のいずれかを使用してください。



注2) デュオサッシを使い21mm幅の畳寄せを周して戸襖を納めるとケーシングの足掛かり寸法が短くなる場合や、和襖開き戸を納めると枠組立て用のねじ頭が見えるため、和障子枠の取付け部窓側のみに21mm幅の畳寄せを周し、他3面については従来通り18mm幅の畳寄せを周して納めてください。

※（ ）寸法はデュオの場合です。

【柱掛かり27mmアトモスⅡCT用】〔在来用〕

枠幅	対応残り壁厚				※1
	枠見込み幅カットなし		枠見込み幅カットあり		
	畳寄せ18mm	畳寄せ12mm	畳寄せ18mm	畳寄せ12mm	
109ミリ	90.5	-	82.5 85.5 87.5	82.5 85.5 87.5	※3
120ミリ	102.5、101	-	99.5	99.5・104・105.5	
133ミリ	114.5	120.5	104・105.5	116・117.5・119	

- ※1. 枠見込み幅カットありの場合は、枠のサッシ側の見込みをカットして使用します。
- ※2. 畳寄せと、縦枠の壁からの出幅の差は1mm以内の設定になっています。
- ※3. []内の残り壁厚は、W256ランマ付きの場合は、ランマ無目枠のカット寸法が大きくなり、建具が入らないため、使用できません。

【柱掛かり30mmデュオ用】〔在来用〕

枠幅	対応残り壁厚						※1
	枠見込み幅カットなし			枠見込み幅カットあり			
	畳寄せ21mm	畳寄せ18mm	畳寄せ12mm	畳寄せ21mm	畳寄せ18mm	畳寄せ12mm	
109ミリ	87.5	-	96.5	79.5 82.5 84.5	79.5 82.5 84.5	79.5 82.5 84.5	※3 ※4
120ミリ	98・99.5	101・102.5	-	96.5	96.5	-	
133ミリ	111.5	114.5	-	101・102.5	113	113・116・117.5	

- ※1. 枠見込み幅カットありの場合は、枠のサッシ側の見込みをカットして使用します。
- ※2. 畳寄せと、縦枠の壁からの出幅の差は1mm以内の設定になっています。
- ※3. []内の残り壁厚は、ランマ付きの場合はランマ無目枠のカット寸法が大きくなり、建具が入らないため、使用できません。
- ※4. []内の残り壁厚は、W256ランマ付きの場合はランマ無目枠のカット寸法が大きくなり、建具が入らないため、使用できません。

開口部の作り方

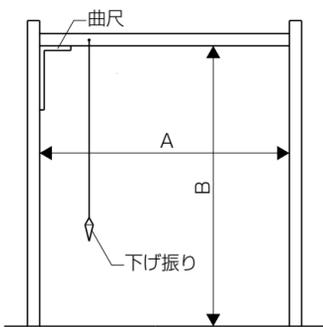
開口寸法の出し方

開口A寸法=製品寸法(W)+10mm

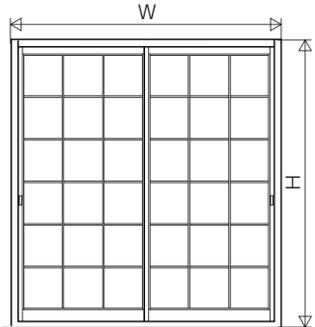
開口B寸法=製品寸法(H)+5mm

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法



製品寸法



製品寸法表

(2×4用)

(単位mm)

呼称	W	H
二枚建て 16009	1642	960
// 16011	1642	1160
// 16013	1642	1360
// 16018	1642	1799
// 16020	1642	1999

(在来用)

(単位mm)

呼称	W	H	呼称	W	H
二枚建て 16009	1640	965	四枚建て 25611	2600	1165
// 16509	1690	965	// 25613	2600	1365
// 16011	1640	1165	// 25618	2600	1849
// 16511	1690	1165	// 25620	2600	2049
// 16013	1640	1365	// 34720	3510	2049
// 16513	1690	1365	// 25622	2600	2249
// 16018	1640	1849			
// 16518	1690	1849			
// 25618	2600	1849			
// 16020	1640	2049			
// 16520	1690	2049			
// 25620	2600	2049			
// 16522	1690	2249			
// 25622	2600	2249			

取付け詳細

1 部材の加工

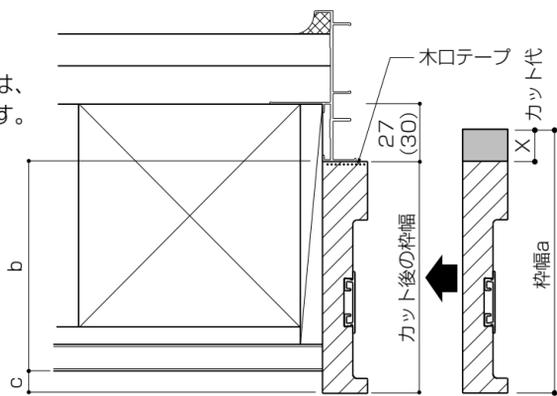
① 枠見込み幅のカット

対応残り壁厚表内で、枠見込み幅カットありの場合は、鴨居、敷居、縦枠のサッシ側の見込みをカットします。

$$\text{カット代}(X) = \begin{matrix} \text{枠幅} & \text{壁厚} & \text{畳寄せ幅} \\ a & b & c \end{matrix} + \begin{matrix} \text{木口} \\ \text{テープ厚} \\ 0.5 \\ \text{縦枠のみ} \end{matrix}$$

133	12.4	
149	18.4	
182	21.4	

注) 27.5mm以上はカットできません。(19mm以上カットする場合は、和障子枠組立て穴加工が必要となります。)



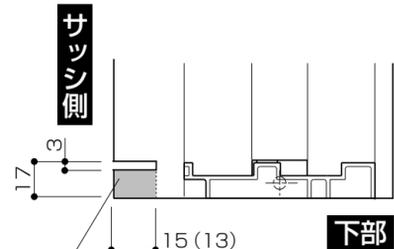
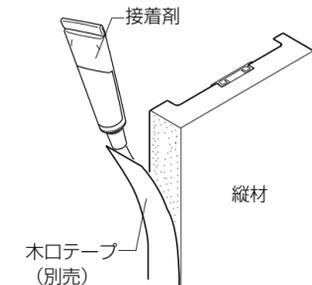
※ () 寸法は、デュオの場合です。

② カットした縦枠の木口には、別売りの和障子枠用木口テープを同梱の接着剤で接着します。

※ 鴨居、敷居はサッシに隠れるので木口テープは不要です。

※ 接着剤は、つけすぎではみ出さないように注意してください。

③ テラスの場合、縦枠のサッシ側下部にサッシアングルのみ込み用の切込みを入れてください。



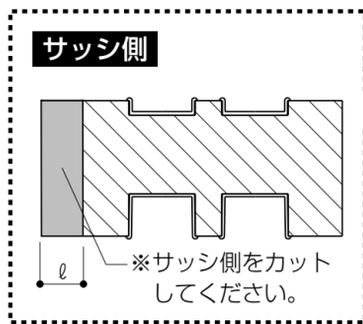
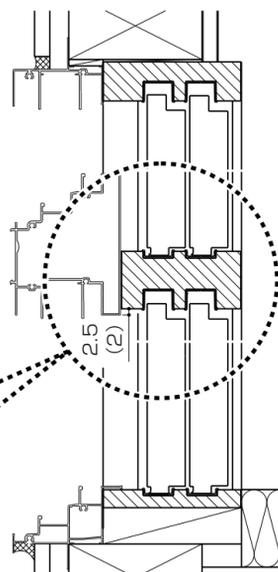
この部分は切落としても可
※ () 寸法は、デュオの場合です。

④ ランマ付きの場合、中鴨居をカットする必要がある場合があります。

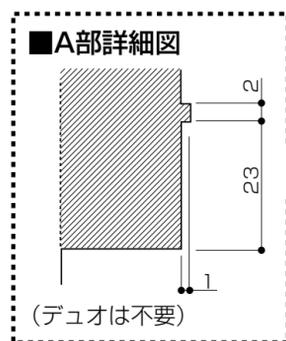
下表を参考にカットしてください。

対応サッシ	枠幅	W呼称	カット寸法ℓ
アトモスII	109mm	W256	21.5
半外付テラス	120mm	W256	10.5
ランマ付き	133mm	W256	カット不要

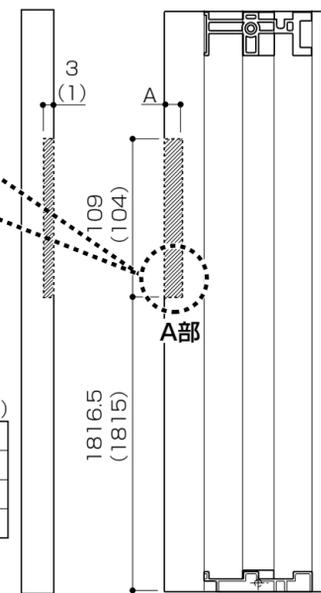
対応サッシ	枠幅	W呼称	カット寸法ℓ
デュオ 半外付テラス ランマ付き	109mm	W165	22.5
		W256	27.5
	120mm	W165	11.5
		W256	16.5
133mm	W165	カット不要	
	W256	3.5	



※ () 寸法は、デュオの場合です。



	A寸法	
	アトモスII	デュオ
W165	—	22.5
W256	20	27.5



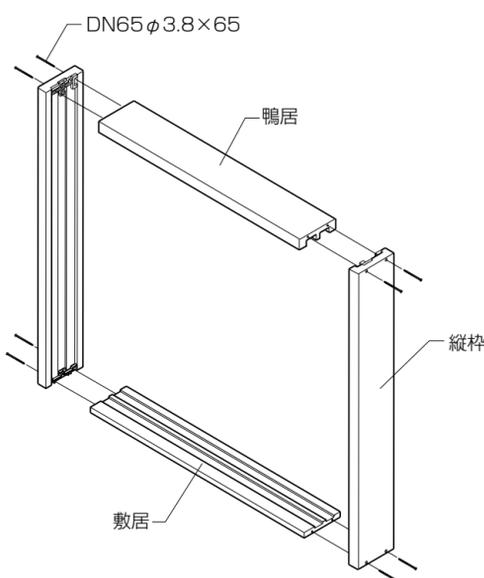
※ () 寸法は、デュオの場合です。

2 枠の組立て

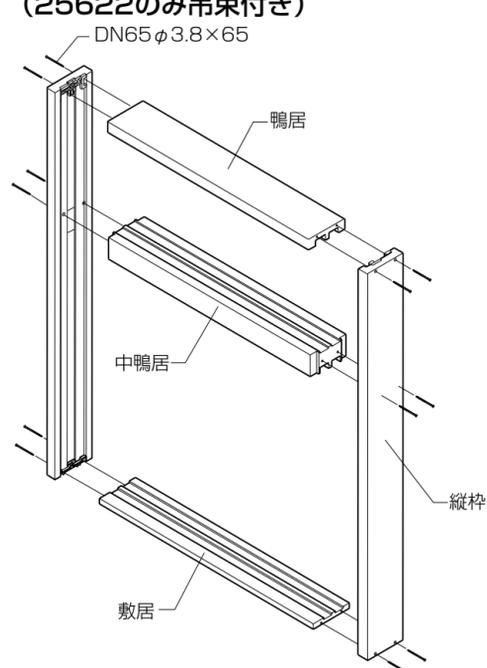
● 図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ (DN65φ3.8×65) で固定します。

※ 組立ての際、鴨居・敷居のレール溝が、縦枠に付いているスペーサーの溝部の位置と合っているか、確認してください。

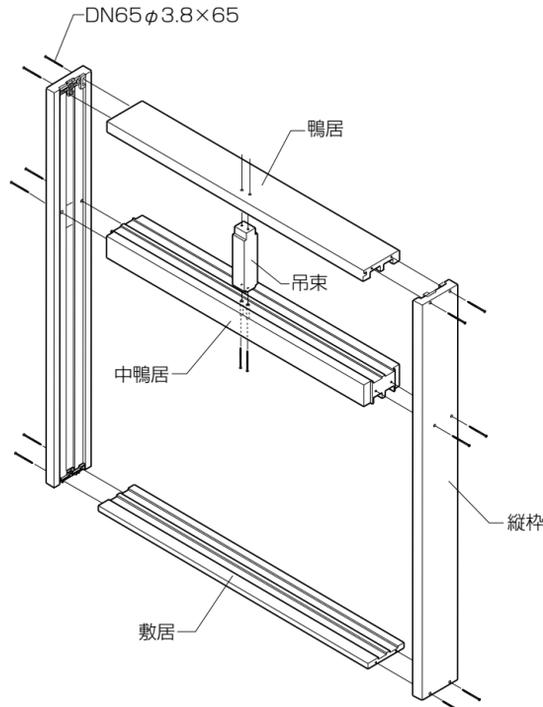
● 二枚建て、四枚建て枠



● 二枚建てランマ付枠 (25622のみ吊束付き)



● 四枚建てランマ付枠



お願い
※ 四枚建てランマ付枠の吊束は、サッシ側溝部に取付けてください。

3 枠の取付け

①開口部と縦枠、鴨居の間にかい木を入れて取付けます。取付けには、DN65φ3.8×65を使用します。

縦枠はねじで固定後、戸当りに同梱の接着剤をつけて、戸当り溝をふさぎます。

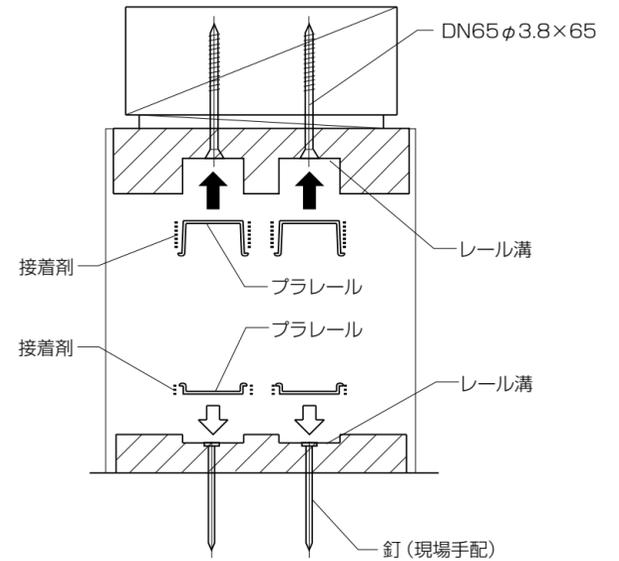
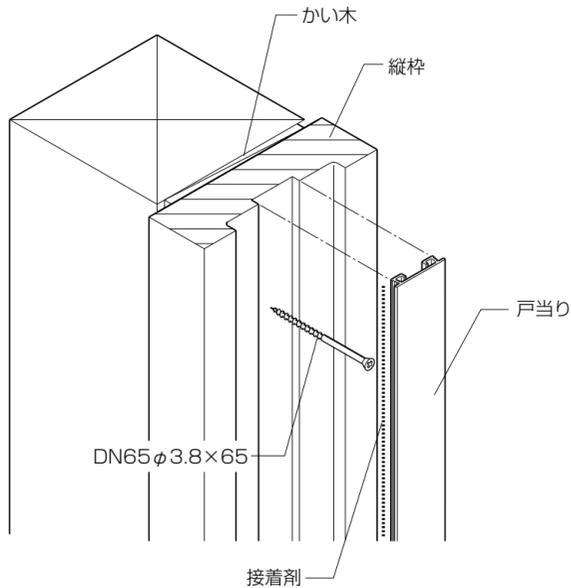
※枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどないように注意してください。

※枠取付け後、引戸本体を吊込み、上レールのかかりを確認してください。

※接着剤は、つけすぎてはみ出さないように注意してください。

②鴨居・敷居はレール溝からねじ止めおよび釘止めした後、ブラレールの両側に接着剤をつけて、溝にはめ込みます。

③釘は端部より100mm離し、350mmピッチで接着剤と併用して取付けてください。



■戸当り、ブラレールのコーナー部の納め方

※戸当り、ブラレールは、下記の順序で取付けるとコーナー部がきれいに納まります。

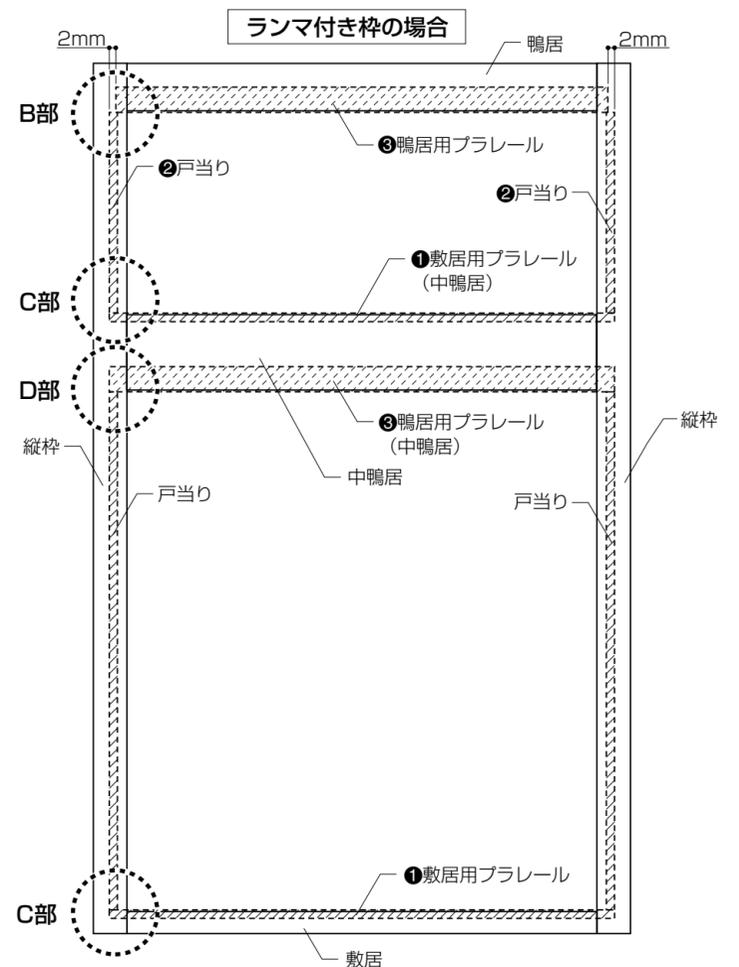
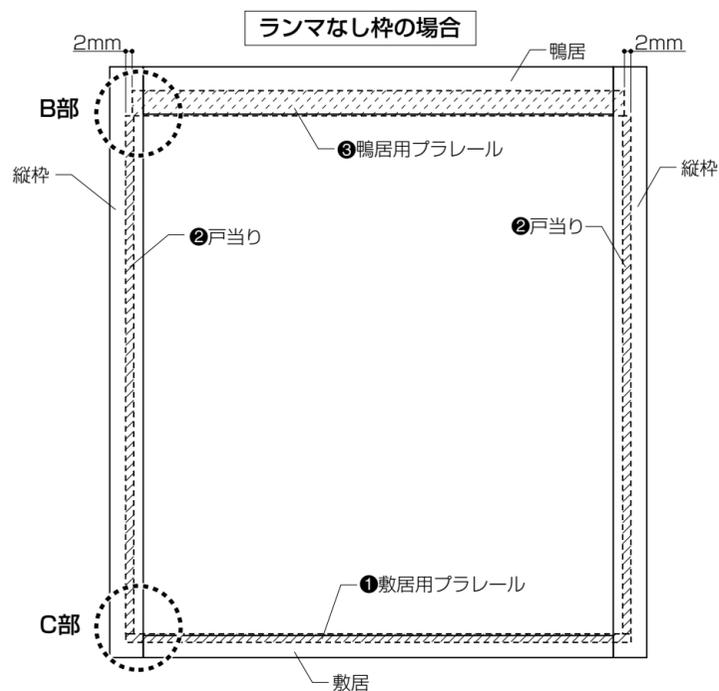
①敷居用ブラレール

②戸当り

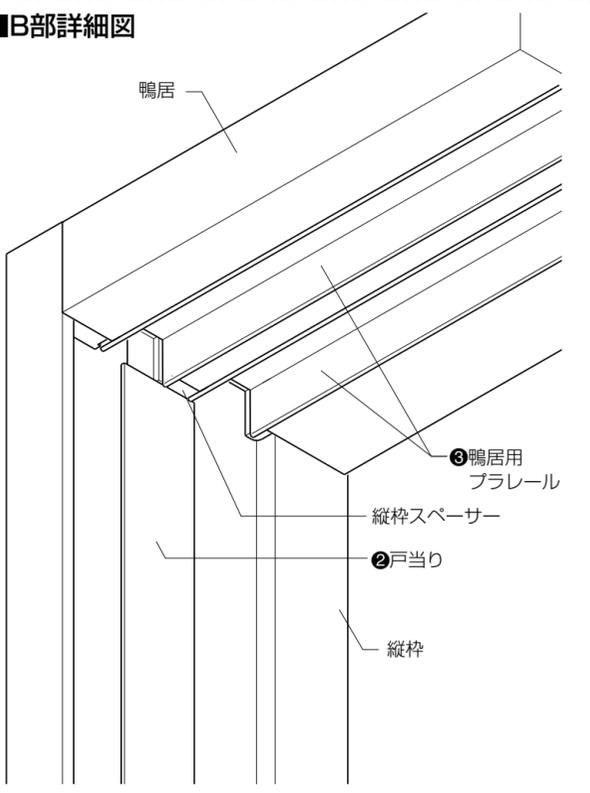
③鴨居用ブラレール

※中鴨居の鴨居用ブラレールの場合だけは、戸当りを最後に取付けてください。

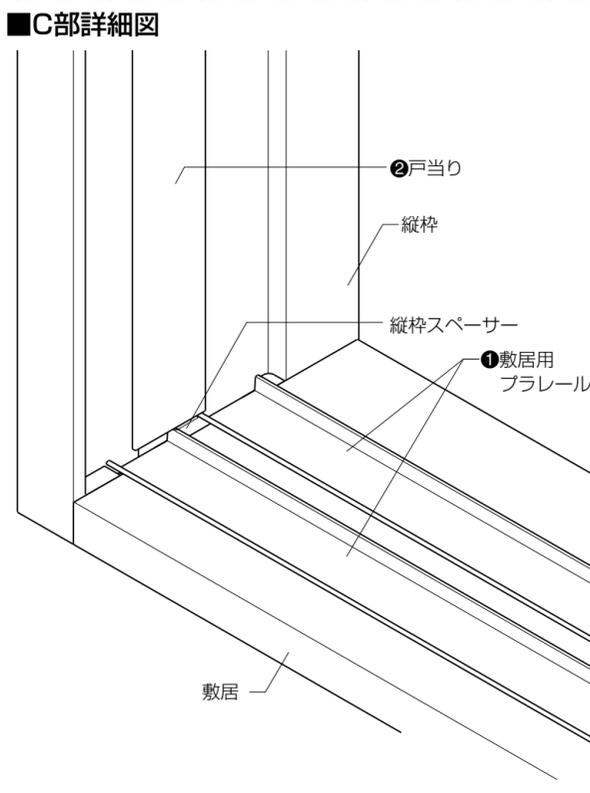
〔ブラレール、戸当り納まり図〕



■B部詳細図



■C部詳細図



■D部詳細図

